

令和3年度 外部評価報告書

令和3年11月

島原市行政評価委員会

はじめに

「島原市行政評価委員会」は、市のまちづくりの施策等に対して、市民の視点に立った公平かつ客観的な評価を行い、効率的で効果的な行政活動を促し、市勢振興計画に掲げるまちづくりの目標の達成につなげることを目的に、学識経験者等を委員として平成21年度に設置され、島原市の事業等について評価及び提言を行っている。

令和3年度は、「第7次島原市市勢振興計画」の2年目となり、その目指す将来像の実現に向け、限られた人員や予算の中で新たな発想で長期的な視野に立った制度や仕組みの再構築を行いながら、各種施策に取り組んでいるが、財政状況は今後更に厳しさを増していくものと予想されることから、より一層効率的・効果的な行政運営が求められる。

こうした観点から、島原市の3事業について、事業評価調書を踏まえたうえで、所管部署との質疑応答や委員会での議論を通じて評価を行い、その結果を取りまとめたので、ここに本委員会の意見として報告する。

特に新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、感染予防・拡大防止対策を行いながら、市民生活や地域経済の回復に力を注ぐとともに、ポストコロナ社会への社会環境整備についてもしっかりと見据える必要がある。

そのうえで、質の高い住民サービスの提供や事業を実施していくためには、地域の実情に応じた行政運営が必要であり、島原市の行政に求められる役割について個別事業を検証することで再確認し、市勢振興計画に掲げるまちづくりの目標達成に向けて、本報告書を踏まえた行政運営を行っていただきたい。

さらに本委員会としては、施策のPDCAサイクルに基づく事業推進及び市民の負託に応えられる行政運営の実現に取り組まれることを望むものであり、本報告書が「未来へつなぐ島原らしさ 暮らし続けたい、訪れてみたい、魅力あふれるまち」の実現ために活用されることを期待する。

令和3年11月

島原市行政評価委員会
委員長 山口 純哉

目 次

	ページ
1. 審議の対象とした事業	1
2. 審議に当たっての視点	1
3. 審議の結果等	2～3
(1) 審議の経過	2
(2) 審議の結果	2～3
①事業の周知及び見直しについて	
②事業のあり方の検討について	
4. 個別事務事業に対する意見	5～7
①街なみ環境整備事業	
②観光宿泊施設支援事業補助金	
③観光客誘致事業等補助金	
 (参考)	
島原市行政評価委員会委員名簿	9

1. 審議の対象とした事業

本委員会の審議対象とする3事業については、①今後の方向性に検討の余地がある事業②政策的要素を持つ*事業③一定のテーマを構成する事業などの観点に基づき決定した。

なお、交流人口関係事業をテーマとした。

*内部管理的事務事業は除く

(所管課)	(抽出事業数)	(事業名)
都市整備課	1	街なみ環境整備事業
しまばら観光課	2	観光宿泊施設支援事業補助金 観光客誘致事業等補助金

計 3事業

2. 審議に当たっての視点

- ・市として事業を実施する必要性が真に認められるか。また、民間等との効果的な連携・役割分担ができていないか。
- ・現場ニーズに即した事業内容となっているか。
- ・評価指標、目標値は適切に設定されているか。
- ・事業の成果が客観的に検証されているか。
- ・事業をさらに効率的かつ効果的に実施する余地がないか。

3. 審議の結果等

(1) 審議の経過

令和3年10月22日に委員会を開催し、事業所管部署からの説明、委員からの質疑、意見交換及び各事業の評価を行い、外部評価報告書を取りまとめた。

(2) 審議の結果

個別の事務事業に対する本委員会の意見は別紙のとおりである。なお、全体的な視点からの意見は次のとおりである。

① 事業の周知及びマニュアルの整備について

事業の必要性については理解が得られるものの、近年、利用実績が伸び悩んでいる対策として、事業の周知活動やわかりやすいマニュアルの整備が必要である。

「街なみ環境整備事業」においては、申請者に金銭的負担が生じることもあり実績が伸び悩んでいると考えられるが、地域景観に配慮したまちづくりの推進のため、「街づくり協定書」協定者に加え、建築業者にも継続的に周知活動を図っていただきたい。併せて事業への意向調査を行い協定地区内の動向の把握に努め、次年度の予算や今後の計画に反映していただきたい。

マニュアルの整備については、街なみ全体が統一的なデザインとなるよう色の基準を数値化するなど工夫していただきたい。また、他の類似制度と棲み分けをわかりやすいものにし、効率的な事業を勧めていただきたい。

② 事業のあり方の検討について

事業の必要性については一定の理解が得られるものの、事業のあり方について検討が必要である。

「観光宿泊施設支援事業補助金」においては、事業名称が目的と整合しておらず、誤解を生む可能性があるため、見直しの検討が必要である。なお、検討にあたっては、島原市における温泉の必要性を認識し、温泉給湯事業に対して費用負担を行っている事業者や個人の納得が得られるよう透明性と公平性の観点からも整理を行う必要がある。

「観光客誘致事業等補助金」においては、交付先の株式会社島原観光ビューローの財務状況や、同社の島原市の観光振興に果たす役割や使命を勘案すると必要な事業といえる。

一方、同社には、市から本補助金のほか指定管理料等、様々な財源措置がなされており、これらについて効果検証を行っていただきたい。

個別事務事業に対する意見

(別紙)

担当 部/課	評価対象事業名	令和3年度 予算(千円)	事業概要
建設部 都市整備課	街なみ環境整備 事業	2,500	<p>○事業概要 平成6年、地域住民や行政等との協働の中で島原中心市街地の活性化に向けた街づくり推進協議会を発足。平成7年度からは、「街なみ環境整備事業」として、「歴史や湧水」、「城下町」等の地域景観に配慮したまちづくりを推進している。</p> <p>○成果指標 修景助成累計件数 平成7年度～</p>
行政評価委員会における審議及び意見			
<p>【審議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「街づくり協定書」協定者に加え、建築業者にも継続的な周知活動を。 ・周知活動と併せて意向調査を行い、協定地区内の動向の把握に努め、次年度予算や今後の計画に反映を。 ・街なみ全体で雰囲気の一感あるデザインを検討を。 ・白、黒、茶色等の色の基準を数値化し、マニュアルの整備を。 ・他の類似の制度がある場合は、制度を比較し効率的な事業の選択を。 <p>【結論】</p> <p>「事務改善」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知活動と併せて意向調査を行うことで、協定地区内の動向の把握に努め、次年度の予算や今後の計画に反映していただきたい。 ・デザイン及び色彩のマニュアルを整備し街なみ全体の基準を図りたい。 ・他の類似制度との混乱が無いよう、棲み分けをわかりやすい方法で整理し周知を図りたい。 			

個別事務事業に対する意見

(別紙)

担当 部/課	評価対象事業名	令和3年度 予算(千円)	事業概要
商工観光部 しまばら観光課	観光宿泊施設支援 事業補助金	16,128	<p>○事業概要 本市の観光の振興を図り、観光産業の存続及び雇用の場の確保を図ることを目的とし、温泉給湯事業を利用する宿泊施設を経営する者が行う観光振興に寄与する事業に対して補助を行っている。</p> <p>○事業開始 平成23年度～</p> <p>○成果指標 観光誘客 雇用確保</p>
行政評価委員会における審議及び意見			
<p>【審議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業名称と補助対象経費の内容が結びつかない。 ・ 事業名称が他の宿泊施設でも利用できそうなので違和感がある。 ・ 他の宿泊施設との公平性の観点から疑問が残る。 ・ 宿泊施設は、補助金を販売促進費や広告宣伝費、食材費に充てており運営補助となっている。 <p>【結論】</p> <p>「事務改善」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業名称と補助対象経費の内容について整合性がとれた制度としていただきたい。 ・ 島原市における温泉の必要性を認識し、温泉給湯事業に対して費用負担を行っている事業者や個人の納得が得られるよう透明性と公平性の観点からも整理検討が必要である。 			

個別事務事業に対する意見

(別紙)

担当 部/課	評価対象事業名	令和3年度 予算(千円)	事業概要
商工観光部 しまばら観光課	観光客誘致事業等 補助金	17,100	<p>○事業概要</p> <p>本市の観光の振興及び活性化に寄与するため、本市を訪れる観光客の方に島原の魅力発信やPRを行い、周遊型観光・体験型観光の推進を図ることにより、宿泊客や入込客、リピーター客の獲得により交流人口の拡大を図るとともに、市内への滞在時間の延長及び観光消費額の増加を図る。</p> <p>○事業開始 平成28年～</p> <p>○成果指標 交流人口数 観光消費額</p>
行政評価委員会における審議及び意見			
<p>【審議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株) 島原観光ビューローは、株式会社としての組織形態だが、利益を得る事業がほとんど無いため、当該補助金は必要。 ・(株) 島原観光ビューローには、島原市の観光振興に果たす役割や使命が課されていることも考慮すべき。 ・事業内容が多岐にわたっており、十分な事業成果が得られていないとの報告がある。 ・(株) 島原観光ビューローに対する指定管理料を含めた各種補助金等、市からの財源措置について効果検証が必要。 <p>【結論】</p> <p>「事務改善」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株) 島原観光ビューローに対する指定管理料を含めた各種補助金等、市からの財源措置について効果検証を行い、組織として効率的で健全な運営サイクルを図っていただきたい。 ・付帯的な意見として、株式会社という組織そのもの見直しを検討していただきたい。 			

島原市行政評価委員会委員 9名（五十音順）

（R3.10.22現在）

	委員名	所属等	任期（2年）
1	（副委員長） 大野 友道	九州北部税理士会島原支部	R2.6.29 ~R4.6.28
2	菅崎 盛秋	島原市町内会・自治会連合会 会長	R3.9.28 ~R4.6.28
3	高橋 勝則	元 島原市収入役	R2.6.29 ~R4.6.28
4	松崎 将治	（一社）島原青年会議所 副理事長	R2.6.29 ~R4.6.28
5	松本 雄希	島原雲仙農業協同組合 島原支店長	R3.9.28 ~R4.6.28
6	満井 敏隆	島原商工会議所 会頭	R2.6.29 ~R4.6.28
7	本村 三郎	元 島原市監査委員	R2.6.29 ~R4.6.28
8	（委員長） 山口 純哉	長崎大学経済学部 准教授	R2.6.29 ~R4.6.28
9	山崎 幹子	元 島原市教育委員	R2.6.29 ~R4.6.28

